令和６年度実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成団体	鹿児島県南種子町
事業細目名	スポーツ教室、スポーツ大会等開催（地方）
事業名	元Ｊリーガーによるサッカースクール&キャンプ
助成金額	3,308,000 円

■調査内容

令和６年度地方公共団体スポーツ活動助成を受けて、「元Ｊリーガーによるサッカースクール&キャンプ」を実施している鹿児島県南種子町の実施状況調査を行いました。

本事業は子どもたちのスポーツへの愛好心やサッカー技術の向上、地域の有望選手の発掘や育成を図ることを目的とし、指導者である鹿児島県出身の元Ｊリーガーとの縁によって昨年度より開催されています。

調査当日は、年間計８回の実施が予定されているスクールの第３回目が行われており、過去に助成を受けて全面が芝生化された綺麗なグラウンドで、子どもたちが楽しそうにサッカーに取り組む姿が見られました。

参加対象者は小学生・中学生で、町内のみならず種子島内から幅広く募集を行っており、今回は約５０名の子どもたちが集まりました。また、スクール及びキャンプ共に参加費は無料、スクールは申込がなくても当日の参加が可能と柔軟な対応を取っていました。町内の学校にはサッカー部がなく、クラブ等に所属しないと本格的に取り組むことが難しい子どもたちもいる南種子町において、本事業は経験の有無にかかわらずサッカーに気軽に触れ合える貴重な機会であることが窺えました。

７月に行われた４泊５日のキャンプには約２０名が参加し、トレーニングのほか、指導者の現役時代の話を聞く、ボランティア活動を行う等、子どもたちにとって人間形成につながる有意義な時間となったとのことです。

■助成の意義

本事業は、参加者の経済的な負担を軽減したいという南種子町の意向から、助成を受けられなかった場合は町の財源を活用しての実施を想定していました。しかし、その場合には全て無償で提供することは難しく、事業に掛かる費用の一部を参加者に負担してもらうことを検討していたそうです。

今回は助成金の活用が可能となったことで、参加者による一切の経済的負担なく事業を実施することができました。

また、参加者やスクールの回数に対してボールが少ないこともあり、新たに購入を検討しているほか、指導者の旅費やバスのレンタル費等に助成金が活用されています。

■事業効果を高めるための取り組み

広報活動については、チラシを南種子町内の全小中学生に配布し、町外はサッカー少年団を通じて本事業の周知を図ったとのことです。そのほか、町内広報誌や町のホームページで事業を紹介しており、町民全体へ事業を知らせる工夫がされていました。

また、スクールはどの回も申込不要で参加可能なため、子どもたちが気軽にスポーツに参加できる受け皿として地域に貢献しているようでした。

■所感

子どもたちの元気な声が絶えず聞こえた本事業は、初実施となった昨年度の参加者の保護者から継続を望む声が多く聞かれたそうで南種子町でスポーツに親しむ機会として欠かすことのできない事業となっていると感じました。トレーニング中はもちろんのこと、ウォーミングアップから、子どもたち同士で精力的に声を掛け合う姿が印象的でした。

本事業では、熱中症対策としてタブレットや飲料水、氷等を常に準備しているほか、定期的に水分補給を促すことで子どもたちの健康面をサポートしていました。

また、救命救急士の資格を持つスタッフが配置されているほか、AED も活動場所に設置されており、安全面でのサポートも行き届いていると感じました。

今後も、島内の子どもたちにとってかけがえのない経験となり、南種子町のスポーツ振興へつながる事業となることを期待しています。

（令和 6 年 9 月 28 日往査）

（写真）元 J リーガーによるサッカースクール&キャンプの様子



